

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	茨城県農業再生協議会	整理番号	4			
使途名	緊急転換加算					
対象作物	飼料用米、米粉用米、WCS用稲、新市場開拓用米、加工用米（基幹作のみ）					
単 価	3,000円以内/10a（単価の上限は6,000円/10aとする）					
課 題	<p>【令和3年度の課題】</p> <p>○令和2年産米については、人口減少等の背景に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等による需要減少や、生産量が需要見通しを上回ったことにより、全国的に過剰在庫が発生しており、更なる米価の下落が懸念されている。</p> <p>○需要と価格の安定を図るためには、令和3年産の主食用米について、全国で過去最大規模の6.7万haもの作付転換が必要であるとしている。</p> <p>○本県においては、緊急転換加算を新設し、非主食用米への転換を強力に推進する。</p>					
目 標	新規需要米、加工用米の合計拡大面積	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		実績	—	1,680ha	1,680ha	1,680ha
内 容	生産者ごとにみて、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、新市場開拓用米、加工用米の合計作付面積が令和2年度より拡大した場合、拡大面積に応じて配分する。					
具体的要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交付対象者 販売農家・集落営農。 2. 対象農地 経営所得安定対策等実施要綱別紙1に定める交付対象水田。 3. 取組の要件 生産者ごとにみて、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、新市場開拓用米、加工用米の合計作付面積が令和2年度より拡大した場合、拡大面積に応じて配分する。 					
取組の確認方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交付対象者であること 営農計画書及び出荷販売状況が分かる契約書等の書類。 2. 交付対象水田であること 水田台帳、及び営農計画書。 3. 交付対象作物が作付されたこと、作付面積 農業共済との突合、もしくは現地確認により行う。 4. 拡大面積の算出 (R3対象品目の作付面積) - (R2産地交付金の対象面積) で算出する。 R3作付面積は営農計画書、出荷販売伝票等により確認する。 R2の面積が過去の営農計画書や出荷販売伝票で確認できない場合、本人から申告書を提出してもらい確認する。 					
成果等の確認方法	①飼料用米、米粉用米、WCS用稲、新市場開拓米、加工用米の合計作付面積 令和3年12月末までに、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、新市場開拓米、加工用米の合計作付面積を集計する。					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和3年度から新規に設定した目標については、令和2年度の目標の記載は不要です。